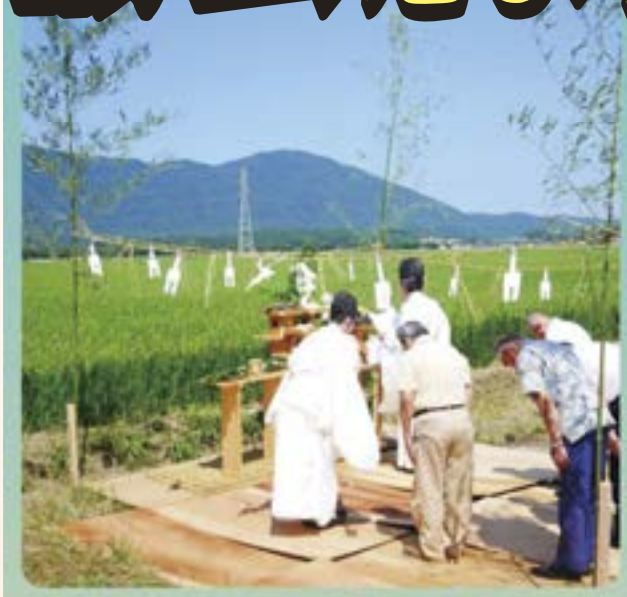
やひこ 議会だより

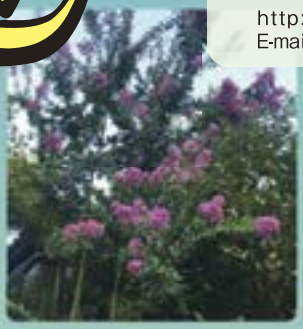
199号

令和２年10月23日

弥　彦　村　議　会

〒959-0392 新潟県西蒲原郡弥彦村矢作
TEL（0256）94－3131（代）
TEL（0256）94－1028（直通）
FAX（0256）94－3216
http://www.vill.yahiko.niigata.jp
E-mail gikai@vill.yahiko.niigata.jp





令和２年 ９月定例会

contents 主な内容

- 前年度未払金（総括質疑）…… P3
- 備品台帳の早期整備を（決算審査）… P3～4
- 防災対応には自助・共助が重要（委員会）… P5～7
- やひこファイヤーラビッツ（みんなの広場）… P8
- 村政を問う７名（一般質問）…… P9～15

7月臨時会　7月8日

本臨時会は、国の第1次補正に伴う新型ウイルス感染症対応地方創生臨時交付金に関連した事業をはじめ、感染症の拡大防止及び地域経済・住民支援を目的とした事業に係る補正議案を審議した。提出議案は、一般会計補正予算1件は、全会一致で可決した。

令和2年度補正

○一般会計（主なもの）

総務課　故神田睦雄さんをしのぶ会実行委員会負担金の補正
　避難所での感染予防対策に必要な備品等の購入（消防費）

住民課　新型ウイルス感染症対策の一環として実施された子育て世帯への臨時特別給付金の対象外となる高校2年・3年生に対して1万円を支給

農業振興課　地域経済回復のための名産品開発事業として、枝豆のブランド化や広告宣伝等を行う

観光商工課　観光客減少に伴う支援事業の実施

教育課　中学校の感染予防対策として、トイレの洋式化、ドライ化（小学校については、大規模改修工事の中で対応）・小中学校の児童生徒1人1台のタブレット端末購入

※このほかにも、飛沫感染防止用パーテーションなどの経費を補正

7月臨時会　7月21日

本臨時会は、7月8日の臨時会で可決された消防費の補正予算に基づいて実施された入札の契約締結について審議した。提出議案は、避難所の感染症対策備品に係るもので、全会一致で可決した。

備品購入契約の締結

避難所での感染予防対策やプライバシー保護にも役立つ簡易型避難所用テントの購入に係る入札で、落札業者と契約締結する。

8月臨時会　8月24日

本臨時会は、国の第2次補正に伴う新型ウイルス感染症対応地方創生臨時交付金に関連した事業に係る補正議案を審議した。提出議案は、一般会計補正予算1案件、競輪事業特別会計補正予算1案件は、全会一致で可決した。

令和2年度補正

○一般会計（主なもの）

総務課　庁舎内の衛生環境の維持、3密を解消する対策に係るもの・避難所用移動式エアコンの購入

住民課　国の特定定額給付金対象外であった令和2年4月28日以降に生まれた子供を養育している世帯及び里帰り出産を含む妊婦さんに10万円の応援金を支給

福祉保健課　西蒲原地区休日夜間急患センターが新型ウイルスの影響で患者数減少しているため、運営費の追加負担

農業振興課　農業の生産性向上のためのICT化推進支援及び、人との接触を減らす機械設備の導入

観光商工課　キャンピングカー、RV車で滞在する観光客に対応した環境整備（簡易炊事場、トイレの整備）

建設企業課　住宅リフォーム助成による経済支援の上積み

教育課　公民館図書館の蔵書をデジタル管理して感染リスクを軽減・GIGAスクール構想における1人1台端末の実現及びICT教育環境整備を図るためのタブレット端末の購入費上積み・感染予防のための中学校トイレの洋式化及びドライ化改修の追加工事

9月定例会　9月4日～17日

令和2年第8回9月定例会は、9月4日～17日までの14日間の会期で開催された。

村長から提案された令和元年度会計決算認定7案件、（一般会計1・特別会計5・企業会計1）、条例改正1案件、令和2年度会計補正予算2案件（一般会計1・介護保険特別会計1）、人事1案件、契約締結2案件、請願により付託された委員長発議1件（意見書）、副議長発議1件（意見書）を慎重に審議した結果、すべての案件は全会一致で認定及び可決した。

一般質問は、財政強靭化、施設活用、枝豆政策、子育て環境、明訓校記念事業、少子化対策、外部監査などについて、村長等への政治姿勢に対する質疑を行った。

9月定例会で決まったこと

条例改正

○村税条例の改正　地方税法等の一部改正が行われたことによるもの。

令和2年度補正

○一般会計　1億1386万円を追加し、総額が52億1200万8000円となった。

○介護保険特別会計　9211万6000円を追加し、総額が10億2116000円となった。

教育委員会委員の任命再任

小野塚（おのづか）　正史（まさし）さん（中山）

契約の締結

○小学校及び中学校タブレット端末等購入契約の締結2案件　8月臨時会で可決したGIGAスクール構想におけるタブレット端末購入の予算執行に伴う入札の落札業者と契約締結することを議決した。

総括質疑 9月9日

前年度未払金

渡邊議員　公有財産管理委託料の補正は、前年度未払い分とのことだが、その内容は。

総務課長　令和元年度の公有財産管理委託料で、内容は特別のものでなく、通常の財産管理の未払いである。

板倉議員　支払いが漏れていたと言うが、なぜ支払いは漏れたのか。原因を突き止めたのか。

総務課長　請求書が来ていて出納閉鎖期間の5月31日までに支払い行為を行わなかった。その職員を処分し、併せて管理責任者の処分も行った。

板倉議員　処分したから、それで済む話でなく、一人に全部任せっきりというのが、原因でないか。

総務課長　指摘のとおり、それが一番の原因。担当者が責任を持って仕事をすることは当然であるが、チェック体制が足りなかった。

今回のケースは、受け取った請求書をまとめて片付けていたので気づかなかった。

今後は、相互にチェックし、相談し合えるような体制にしていきたい。

板倉議員　今回の事は一つの糧になったと思う。これらが起こったことに対し、5つのなぜを突き詰めて改善してもらいたい。

中学校修学旅行

古川議員　中学校の修学旅行が中止だが、代替えの計画は。

林教育長　新型ウイルスで、延期となっていたが、8月に保護者との懇談会を設けた。修学旅行が中止になった場合、代替えの計画について、大多数から支持が得られた。今、学校側で、県内を中心とした行程で検討している。

農産物販売促進事業費

渡邊議員　特産農産物の販売促進費業費の補正、723万円の内容は。

農業振興課長　航空機の機内食に伊彌彦米が採用された場合の米の購入経費である。

渡邊議員　機内食に伊彌彦米を提供する場合の促進等、販売プロモーションポスターやパッケージ変更等も含め詳細を詰めているか。

農業振興課長　米を機内食として使用してもらうことで今、事業を進めている。パッケージ等はこの事業に含まれていない。

決算審査 9月11日

決算指数

古川議員　令和元年度の一般会計決算の経常収支比率は、82・4%だが、適正な数値は。

村長　経常収支比率は村財源に対する独自施策の自由度を示す指標である。

副村長　この数値が高いと、独自の政策事業は少なくなる。行政の支出は、法令等によるものが多く、自由度は一般的には低くなる。適正数値は、今後勉強したい。

渡邊議員　財政力指数は、自治体の財政上の能力を示す指数で「1」に近いほど財政力が強い。弥彦村の場合は0・415である。これを補うために地方交付税で賄うことになる。この比率の目標値と高める方策は。

村長　現時点では目標値は無い。ふるさと納税と競輪に頼っている財政である。本来、個人村民税、法人村民税を恒常的に上げなければならない。例えば、3割とか4割に上げたいが、これには時間がかかる。

固定資産税の未納

古川議員　固定資産税の令和元年度収入未済額が高額になっている理由は。

税務課長　高額なものはホテル・旅館の営業不振や倒産等による累積である。

自殺予防対策

那須議員　自殺予防の基礎知識の普及と相談窓口の充実とあるが、具体的な内容は。

福祉保健課長　精神科医師や精神衛生福祉士を招き、講演会や月1回、相談日を設け、さまざまな相談を受ける事業である。

村営住宅の老朽化

板倉議員　弥彦地内の大石原団地は、耐用年数が迫っている。行政の都合で退去となる場合の費用は。

建設企業課長　築42年なので、あと3年残っているが、湿気等の影響で、老朽化が進行している。他の村営住宅へ移転を依頼し、その費用の補償も考えている。

老朽化が進んでいる村営住宅

備品台帳の整備は

板倉議員　地方自治法上、備品管理は必要とのことだが、庁舎内の備品管理は行っているか。

総務課長　備品管理は各課に任せているが、備品台帳は、きちんと整備されていない。

板倉議員　各課に任せているというが、本来は総務課で指導するべきでは。

副村長　確認が不徹底であった。これから指導したい。

巡回バス

柏木議員　弥彦村と燕市間で巡回しているやひこ号の運行経路の見直しができないか。

村長　運行経路に空白地域があるが、国の規定で乗降率がある程度ないと認めない現実がある。一度には無理だが、国に働きかけていきたい。

柏木議員　地域住民は困っている。是非実現に向け努力願いたい。

移住促進事業

柏木議員　転入者に対し、補助金を交付する事業は、転入祝い金になっている。抜本的に見直すとのことだが、その内容は。

村長　効果のない事業は、実効性のあるものに変更していく。内容は今後、検討する。

第三者交付本人通知

柏木議員　住民票等の第三者交付に係る本人通知で、不正請求や不正取得はあったか。

住民課長　事前に登録が必要。住民票の写しや戸籍等を代理人や第三者に交付した事実を本人に通知する。現在、不正等の相談はない。

固定資産評価替え

柏木議員　令和３年度に評価替えがある。弥彦村38地点で不動産鑑定評価を実施したが、結果はどうか。

税務課長　ある程度、下げ止まっているが、まだ住宅地域の一部と旧農村地域では、まだ数百円程度の下落である。

免許証自主返納

丸山議員　高齢者の交通事故防止として、平成30年度は需用費で自主返納支援利用券が計上されていたが、令和元年度はない。支援事業の内容が変わったのか。

総務課長　事業内容は変わっていない。前年度の自主返納支援利用券の印刷費である。現在は前年度に印刷した利用券の残を使用しているので、今回の計上はない。

英語教育の成果

渡邊議員　英語教育における学習教育の結果、コミュニケーション能力育成と国際交流を推進するとのことだが、その内容は。

教育長　英語指導の充実として、外国語指導助手を雇用した。昨年度、新学習指導要領で小学校５、６年生に指導した。

学校トイレの改善

小熊議員　中学校の洋式化の状況は。また保育園から小学校への移行対策の一つとして洋式トイレをウォシュレットにしては。

教育課長　中学校は環境整備に基づき洋式化を進めている。保育園、小学校はすべて洋式化が完了しており、ウオシュレットは一部で対応済みである。今後も検討していきたい。

がん検診

柏木議員　大腸がんと前立腺がん検診で要精検率が高い。精密検査は全員が受診か。

福祉保健課長　訪問等で受診勧奨しているが約８割となっている。

小中一貫校連絡協議会負担金

板倉議員　弥彦村も人口減少で、児童・生徒が少なくなることを見据えての負担金か。

教育長　この負担金は、令和元年度で２年目。文科省も、小学校５、６年生を専科教育、（教科担当制）を検討している。その様な中、県内でも小中一貫教育実現を模索するため、毎年１回、会議や研修会等の運営費である。

ビジョンよしだ使用料

板倉議員　ビジョンよしだの施設使用料支払いの内容は。

教育課長　中学校にはプールがないので夏休みに利用する場合の費用である。

板倉議員　今年度は新型ウイルスの関係で、ビジョンよしだが使用できない。子どもたちのプール利用ができないか。

教育課長　今は、燕市民以外は使用できない。

村長　ビジョンよしだは、子どもたちだけでなく、弥彦村民の健康維持にも大きく影響してくる。燕市に、弥彦村民への開放を要請している。

ワイン特区

板倉議員　ワイン特区協議会の負担金に関連して、ブドウは３年位かかるが、元弥彦保育園の利用とその後の状況は。

観光商工課長　ワインの生育は、生産者の方と進めている。そこに県の担当者にも入ってもらい、ワインと他の農産物を含めた６次産業化計画を進めている。

元の保育園は、現在、使用していない状態であるが、当初の計画どおり、そこをワイナリーとする予定である。

競輪事業特別会計

個別外部監査について

本多議員　委託料１３００万円で個別外部監査を終え、村長の競輪事業に対する、さまざまな疑念が払拭されたのか。また、成果をまとめたものを発表するのか。

村長　事柄によっては払拭したが、そうでないものもある。

副村長　監査結果の報告書は公表する方向で進めたい。

総務文教常任委員会

防災対応には自助・共助が重要

9月10日

付託された議案は、補正予算1案件、条例改正1案件は村長提案のとおり全会一致で可決した。

請願1案件は質疑、討論ともなく採択され、意見書を発委することとした。

主な質疑事項

一般会計補正予算

問 移住促進事業費補助金で100万円計上されている。支給対象条件と、移住後に、転出した場合の補助金返還は。

答 移住者が弥彦村に住民登録し、村内に住宅を建てるか、中古住宅を購入することが支給要件。村内業者等に依頼すると40万円、村外の場合20万円の支給。移住者が単身または、世帯転入かによって支給内容が変わるものではない。

なお、移住後3年以内の転出、または取得住宅を売却すると、全額あるいは半額の返還が生じる。過去に1件返還実績がある。

問 消防費のマスク検査手数料8000円の内容は。

答 本年3月に匿名者からマスク8000枚の寄付があった。製造年月日が不明、保存状態などに心配な点があったので、使用可能かを検査した費用である。

問 今後インフルエンザの流行で、マスク需要が高まると考えられる。マスクの備蓄はあるか。

答 当面のリスクに対応できる数量はある。

付託案件外について

問 小学校の給食室工事のため2学期が始まっても、児童は弁当持参だった。夏休み期間中に完了できなかったのか。また、どのような工事が行われたのか。

答 工事は、夏休み中に完了する予定であった。新型ウイルスの影響で夏休みが短縮になって完了できなかった。

工事の内容は、給食室の床や壁・照明など、全面的なリニューアルである。

リニューアルされ明るくなった給食室

問 コミュニティセンターの空調設備が老朽化している。弥彦体育館に配備する移動式エアコンの有効活用は可能か。

答 可能である。

問 弥彦中学校の体育館付近が地盤沈下している。修繕等できないか。

答 今一度、緊急性を確認し、必要があれば予算化したい。

地盤沈下が進行している中学校体育館前

問 防災対応に必要な自助・共助を村民に根付かせていくことが、大事になってくる。今後の推進については。

答 広報に防災コーナーを設け、特集を組んで周知している。地域の防災訓練や小・中学校にも出向いて講話する時に、その点の説明とお願いをしている。今後も継続したい。

厚生産業常任委員会

新型感染症対策の追加支援は

9月10日

付託された補正予算2案件は村長提案のとおり全会一致で可決した。

主な質疑事項

一般会計補正予算

問 マイナンバーカードの発行状況は昨年と比べてどうか。

答 8月末現在、930枚を交付しており、人口比では11・7%である。

今年度に入って204枚を交付している。昨年度の発行数129枚を既に超えている。これはマイナポイントの効果と思われる。

問 これまで発行数が増えなかった原因は何か。もっと利用価値を高める提案をしては。

答 マイナンバーカードの活用が確定申告などに限定されていたことが要因と思われる。

来年3月には保険証としても使える見込みである。今後は利用価値を高める検討をしていく。

問 老朽化等による傷んだ村道の補修計画の内容は。

答 道路整備箇所は、主に広域幹線10号線、麓大戸線、大戸峰見線の3か所である。その他は、優先順位を決めて、計画に基づいて、継続的に舗装修繕を行っていく。

付託案件外について

問 個人的に行う新型ウイルス感染症のPCR検査料は、保険の対象か。

対象とならない場合、村の助成は可能か。

答 検査料は保険の対象とはならない。村で全村民を対象として助成することは、財政的に難しい。検査ではその時点の判定しかできない。心配な場合は、帰国者・接触者相談センターに相談することになっている。現時点では3密の解消、手洗い等で予防に努めることが重要である。

問 西蒲原地区休日夜間急患センターの負担金が8月臨時会で補正予算で計上されたが、新型ウイルス関連で県央医師会応急診療所からの負担金の増額要請はないか。

答 運営を委託されている県央四市医師会からそういった要請はない。

西蒲原地区休日夜間急患センター

問 健診や予防接種等について、他の市町村で実施が滞っているところがあって、保護者が心配しているという話を聞く。村ではどうか。

答 村の健診については、4月から6月にかけて、委託している新潟県保健衛生センターが実施を控えていた。7月以降は予定どおり実施している。健診会場での3密を避けるため、会場を2か所に分け、男性の日と、女性の日を設けるなど、感染予防対策を講じて実施した。予防接種についても各医師会では通常どおり実施できている。

問 ひとり親受給者証更新の手続きを自動更新にするなど、手続きを簡略化できないか。

答 ひとり親受給者証更新申請は、児童扶養手当の更新申請も併せて行っている。聴き取り調査が必要であるため、予約時間に来庁してもらっている。

問 新型ウイルス感染症対策として行っている高校2年・3年生対象の子育て世帯応援金の追加支援状況は。

答 高校生138人、保護者129人、対象者全体の76・6%に支給した。

問 枝豆共同選果場の建設事業予定地の村への名義変更は行われたか。また、出入り口に車がよく停まっているが、予定地を他に貸し出したりしているのか。それにより、今後の工事等に支障はないか。

答 6月1日付で、村への所有権移転を完了している。村では当該地の貸し出しはしていない。今のところ、工事に支障はない。

問 弥彦駅前トイレ周辺の草刈りなどの管理を以前は、シルバー人材センターが請け負っていたということだが、現在はどうか。

答 管理について、今後は彌彦神社やJRでそれぞれの担当者を立てて協議し、明確にしていきたい。

競輪特別委員会

オリジナルソングで新規ファン獲得を

9月9日

付託された案件は無く、令和元年度・2年度売上状況、ミッドナイト競輪・全国競輪の売上状況、令和2年度下半期開催日程、令和2年度収益見込み、一般会計繰出金及び基金積立状況、弥彦競輪施設整備改修工事について説明があり、付託案件外の質問に入った。

問 新型ウイルスで、競輪開催が中止になったが、中央団体から選手に対する収入補償はあるのか。

答 補償は無い。選手は個人事業主で、国の給付金の対象となり、多い人で100万円の給付があった。

問 現在、レースが9車立から7車立に変更になり、車券が買い易いが今後も続くのか。

答 7月から全ての開催が7車立となった。10月から当面の間、FⅠ・FⅡは7車立、GⅢ以上は9車立となる。

今後の施設活用と改修予定について

問 ドリームスタンドの音楽会使用に関して、音響面や騒音等の配慮はあるか。

答 これからの競輪場は競輪だけでなく、公共的・多目的に使用できる形態が望まれる。繊細な音響を必要としない野外の無料音楽会など、気軽に参加してもらえる2～3000人規模の音楽会を想定している。

駐車場や宿泊施設もあり、観光面での効果も見込めるので、周辺住民に十分理解してもらった上で実施したい。

水害時に災害対策本部になる新観覧席

問 宝光院側の新観覧席は、水害時には災害本部として使用するため、自家発電機を増設するが、性能は。

答 既設の自家発電機は、平成28年度のナイター照明導入に対応して設置した。増設後の出力は、猛暑時にエアコンを使用しても充分な能力がある。

問 新施設の見学会は行われたのか。また、女性の参加は。

答 8月の上・中旬に行い、女性の参加者は1～2割ほど。参加者の感想は、きれいだとの意見が多かった。今後の利用などを検討したい。

問 走路の水漏れ改修予定は。

答 前回の大規模改修から30年程経過している。小さな改修は繰り返し行ってきたが、抜本的な改善になっていない。

改修費に2億円、半年間の期間が必要なので、寛仁親王牌終了後を目途に、地下水等の調査を含め計画したい。

弥彦競輪初のオリジナルソング

問 弥彦競輪のオリジナルソングができたとのこと。その経費は。また、曲のお披露目会は。

答 競輪活性化事業の補助金を使い総額500万円。その内、村負担は100万円位である。開催中のBGM的に使用しているが、感染症拡大の状況を見ながらイベント等を検討したい。

他にコミュニティセンターの改修、ギャンブル依存症に関する質問があった。

みんなの広場

弥彦村消防団女性班『やひこファイヤーラビッツ』

令和2年1月の出初式で辞令交付を受けた『やひこファイヤーラビッツ』です。発足後間もなく新型ウイルスの影響により、さまざまな活動が中止となりました。

この状況で、自分達にも何かできることはないかと考え、手作りマスクを寄付する等の地道な活動をしてきたファイヤーラビッツのメンバー。司会の那須を含めて女性班は全員で7名です。今回は私以外の6名から一言ずつ想いをお聞きしました。

司会　女性消防団に入団しようと思った動機を教えてください。

立川　尊敬する人が東京で女性消防団として20年ほど、地域のために活動されており、素晴らしいと感じていた。私自身、村の防災訓練に毎回参加し、ＡＥＤの使用体験や消防演習の見学を通して、地域のため、自助・互助・共助の必要性も感じていた中、弥彦村でも女性消防団発足を受け、今だ!!と思い、決心しました。

清水　以前から地域の人達と何か活動をしたいと思っていました。そんな中、職場の方から声を掛けていただき、入団を決めました。女性班のメンバーはとても仲が良く、講習や活動は大変ですが入団して本当に良かったです。

司会　コロナ禍で手作りマスクを寄付しましたが、どんな想いで取り組みましたか。

板倉　新型ウイルスが流行し、人との距離をとり、密を回避しなければならない状況でも人と接することは避けられず、以前より心身共に負担が増えている皆さんの感染リスクが少しでも減ればと考えながら作成しました。

中山　マスク不足だった頃、少しでも力になれれば、との想いで作成しました。まだまだマスクが欠かせない日々なので、保育園・学童保育の職員の方々に使っていただけたら幸いです。

司会　今後どのような活動をしていきたいですか。また、どんな消防団員を目指したいですか。

制服姿の女性班

小林　女性消防団としての活動は、日頃の業務では出会うことのない幅広い世代の方たちとも触れ合う機会に恵まれています。消防団として学んだ応急手当やこれから学びを深めたい防災の知識を幅広い世代の方々に伝えていきたいです。小さな活動が弥彦村の皆様の安心安全に繋がればいいな、と考えています。

篠山　広報やひこに出初式の写真が載った時、声をかけていただきうれしかったのを今でも覚えています。女性消防団はまだできたばかりです。まずは顔を覚えていただき、防災について相談してもらったり、共に考えていけるような活動をしていきたいと思います。

司会　新型ウイルスの影響で一時は中断されていた講習も無事に再開され、晴れて全員が応急手当普及員となりました。

救急車が到着するまでの間、目の前に倒れた人の命を救うため、一歩踏み出せる勇気とそのために必要な知識と技術を皆様に普及していきたいですね。

今はまだ大々的な活動はできていませんが、皆さんの今後の活躍を期待しています。

一般質問

9月7日

財政強靭化

小林村政で基金増額に繋がった主な政策は

村長＝競輪事業とふるさと納税の推進で

古川七郎（ふるかわしちろう）議員

質問 平成27年2月、村長に就任してから、約5年半が経過した。

この間を振り返って今後の財政課題と村が進むべき道について聞きたい。

まず、令和元年度当初の基金残高が就任前と比べて、4億5326万円増となっているが、その要因は。

また、競輪の収益が上がった原因とふるさと納税による財源確保は、今後も見通せるか。

表1

○基金残高（一般会計と特別会計の合計額）

平成27年3月末	令和元年4月現在
基金残高	基金残高
13億2,623万円	17億7,949万7千円
	対比 4億5,326万7千円

表2

○競輪基金（競輪財政基金と競輪施設等整備基金の合計）

平成27年3月末	令和元年4月現在
基金残高	基金残高
8億9,100万円	11億7,000万円
	対比 2億7,900万円

村長 一般会計の基金は、平成26年度末で3億6378円。平成30年度末では、4億8284万円となっている。

また、競輪財政及び施設整備基金でも2億7900万円の増と、なっている。

私が就任後、大きく変わった点が2つある。

1点目は競輪事業で、ミッドナイト及び、ナイター競輪を開催したことである。平成28年度に、約2億5000万円をかけて、バンク内の照明工事を行い、平成29年度からミッドナイト競輪の開催を始めたことが、大きな分岐点であると考えている。

本年度は、新型ウイルスの関係で、開催の中止があったが、ネット投票等の伸びが著しく、昨年度の実績を超えている状況である。

来年度は、寛仁親王牌の開催もあるので、期待をしている。

2点目は、ふるさと納税推進の取り組みである。平成27年度から、インターネットのポータルサイトで本格的に、ふるさと納税の募集に取り組んだ。

さらに、ブランド化した弥彦産米を主力にした返礼品が功を奏し、全国から多くの寄附金を集めることができた。

今後、弥彦産の枝豆が追加されれば新たな主力商品になると確信している。

質問 村の基幹である農業、儲かる農業の振興をどの様に考えているか。

村長 農業所得の向上は人口減少の歯止めとなっていることは明らか。弥彦村の財政にも大きく寄与することと考えている。本年度の7月末のふるさと納税の額を見ると、これまで最高だった平成30年度を上回っている。

一般質問

9月7日

板倉恵一（いたくらけいいち） 議員

施設活用

コミュニティセンターの果たす役割は

教育長＝文化会館の今後の在り方と併せて検討したい

質問 昔から、地域、町内会の人が集まる場として各自治体に公民館が設置されている。

ここでは、地域住民の情報交換やコミュニケーションの場として、積極的な利用がなされてきた。

弥彦村の公民館は、弥彦総合文化会館に併設されているが、その外にもコミュニティセンター（通称コミセン）といわれる施設がある。これらの施設は、いつ、何の目的で造られたのか。

教育長 弥彦総合文化会館は、昭和53年広域的な地域文化の振興及び、地域住民の教育文化や生活向上を目的として、公民館に併設して建設された。

コミニュテイセンターは、平成4年、(財)車両競技公益資金記念財団から補助を受け建設された。

この施設は、競輪場周辺住民並びに村民のサービス向上、生涯学習の推進、そして、健康増進を図るため、多目的施設として建設されたもの。

また、平成13年には、村政施行100周年記念として、1階部分を増築し、3階建のバリアフリー対応も行って、リニューアルオープンした。

質問 この施設が建設された趣旨に沿った施設の稼働率がすこぶる悪い。コミセンの過去の利用状況は。

教育長 コミセンは、美術展示を中心に活用を進めた結果、他の利用が減少している。

近年、村民ニーズの多様化や、少子・高齢化等で、生涯学習や健康増進等各種団体の活動自体が縮小している。

過去の利用状況の主なものは、平成15年度以降、「弥彦を描く」公募展が毎年開催され、コミセンの利用人数が大幅に増えた。

そのため、芸術の文化拠点というイメージが強くなり、他の利用形態が減少となった。

他にも、平成27年度に、天野尚写真展では、建設以来、最高の入場者を記録するに至った。

しかし、コミセンの施設全体の稼働率は、指摘のとおり、教育委員会としても十分認識をしている。

質問 文化会館に代わる施設として、コミセンを活用することについて、検討委員会で協議してはどうか。

教育長 実体としては、上泉の公会堂や、弥彦体育館でも利用できる状況にある。

最近の動きとしては、同様の事案により、新潟県公民館組織から脱退するところも現れていると聞く。

文化会館の在り方、コミセンの在り方をもう一度再検討したい。

村長 文化会館は、配管等の設備が耐用年数を超えている。

これらを全部交換するとなると、膨大な資金が必要となるので総合文化会館については、手をつけることができない。

有効活用を検討してほしいコミセン

枝豆政策

枝豆共同選果場とブランド化の戦略及び進捗状況は

村長＝計画通り順調に推移・農業所得の向上と財政力強化を目指す

渡邊富之（わたなべとみゆき）議員

質問　弥彦枝豆共同選果場の建設と枝豆の商品化、ブランド化の戦略と計画の進捗について6月定例会で議決を経て予算化された。

村長は村の財政力の強化策について並々ならぬ決意を持って職に臨まれている。

伊彌彦米に続き枝豆を特産品に育て上げる青写真を描き、一つ一つ計画を実行に移している。私も弥彦むすめから、茶豆、肴豆に18種類と5カ月に至る切れ目のない集荷と出荷が必須要件と考える。

枝豆は鮮度が命。朝採りの当日出荷分と翌日出荷分があり、翌日分は予冷庫に収納し、摂氏5℃前後で保冷することが鮮度維持要件となる。過日、新潟市南区のJA新潟みらいの枝豆共同選果場と大戸の農事組合法人の圃場及び選果場を視察した。

冷却水による枝豆の洗浄は大量の水を使う自動化された新潟みらいと自動ではないが大戸のそれには工夫が見られた。ローコストでもあり感心もした。

この目で見て且つ説明を聞いて、大いに参考になった。スケジュールによれば令和3年9月の枝豆共同選果場竣工予定となっており、建築、設備工事ともに入札から約7か月の竣工でかなりタイトな日程ではないかと危惧している。

①実行計画の遅れはないか。②ブランド化の作業主体は何処か。③また工程表を示してもらいたい。④当面、出荷は1日2tから始め、4tまで増やす計画と聞いている。来年の月別出荷量と再来年以降の年次計画はどのようになっているか。

村長　建設用地は6月1日付で取得が完了。その後の工事もいくつかは、既に発注している。これから発注する工事もある。

タイトなスケジュールではあるが前倒しで、来年の7月からの操業開始を目指し猛烈に加速化している。

現時点で計画は順調に推移している。ブランド化については村が主体的に所管している。伊彌彦を冠したネーミングをと考えている。

来年の月別予定出荷及び再来年以降の年次計画は生産者や出荷を委託されているJAが策定するものであり、村は関与しない。運営に関しては、生産者、JA、村で構成される運営協議会において運営される予定。ふるさと納税を活用した財政力の強化と農業所得の向上を目指す。

ブランド化される枝豆

そのために生産振興を含めた園芸振興を村の最重要施策の一つとして取り組んでゆく。

農業振興課長　弥彦村は黒埼に比較して品種も多く伊彌彦を冠してブランド化してゆく。

目標は令和4年度に60haまで増やす予定。1日4tの出荷量は問題なくクリアできると考えている。

一般質問

9月7日

那須裕美子（なすゆみこ）議員

子育て環境

保育園の実状を踏まえ保育士の待遇改善を

教育長＝評価の向上と適切な報酬になるよう務める

質問　7月に絵本の読み聞かせで保育園に訪れた際、0歳児1人が途中入園したところであった。そして、来月から立て続けに6人、乳児が入園する予定とのこと。

　待機児童をつくらないのは良いことだが、現場はかなり大変。年度途中の入園は、前年度から、予約ができれば職員体制を整え、受け入れることは可能であるが、そうでないと厳しい状況である。

　さらに、一時保育の需要も増えてきており、職員配置は一層厳しくなる。泣く泣くお断りすることもあるという。

　産休明けで年度途中でも入園予約ができることを周知する工夫が必要でないか。

　また、燕市のように一時保育を受け入れる施設が、保育園以外にもあれば良いが、弥彦村には無い。そのため、保育園の負担は大きくなる。

　本来、支援センターやファミリーサポートのようなシステムを設けることが、一番良いが現実的に厳しい。

　保育士の人手不足に対応するため、募集しても、なかなか応募がない現状である。

　保育士は、大事な命を預かるため、神経をすり減らす想いで業務に当たっている。乳幼児の保育のみならず、園での様子や連絡事項を保護者に伝えるため、連絡帳の記入等の細かな作業から、運動会、お遊戯会、季節の行事計画・準備・飾り付けや衣装の製作等。園児が帰宅後の仕事も山積みで、業務内容が報酬に見合っていないことは、全国的にも問題になっている。

　職員の待遇を改善することで、離職や働き手不足の解消に繋げられないか。

教育長　現在、定員に対する入園率は、69・1％。少子化の影響で園児数は年々減少傾向にある。

　しかし、核家族化や共働き世帯の増加により、0歳児～の未満児保育や一時保育の需要は高まっている。

　また、特別な支援を要する子どもへの対応等、保育士一人一人の負担は増えている。

　保育サービスの多様化に伴い、地域型保育事業やこども園が新規開設され、新たに保育士が必要となった。

　しかし、少子化により、保育士自体の数も減っている。

　当村も保育士の確保は常々苦労している。待遇については、村内の保育園は全て村立であるため、地方公務員法の給与に準じて支給しているが、保育士という職業に対する評価の向上が必要と考える。報酬と業務量のバランスを見直し、事務の簡素化等の改革を行い、経験と役職に応じた適切な評価と報酬となるよう努めたい。

教育課長　9月の広報で通常の入園希望と同時に年度途中入園予約の周知も図っていく。

安全に避難訓練する職員

明訓記念事業

新潟明訓校100周年事業に発祥の地として参画しては

教育長＝明訓校の軌跡をめぐるコースを検討

柏木文男（かしわぎふみお） 議員

質問

彌彦神社の近くに鈴木家がある。その土蔵を仮校舎として明治15年2月に大橋一蔵を校長とする明訓校が開校した。翌年、支援者からの資金援助により、競輪場内に１２６坪の洋風２階建て校舎が完成した。

明訓校の教育は皇室や中央政府にも認められ、有栖川宮熾仁親王から明訓校の校額を、明治天皇から当時の金額で３００円もの大金を賜わった。

明治18年には、西蒲原中学校と合併し県立明訓学校となり、県に移管された。新校舎は、現在の弥彦村商工会の敷地に建設され、県下初の独立した中学校となった。

その後、県財政の逼迫、県議会の中学不要論で明治21年7月に廃止されたが、その後、存続運動が高まり、明治21年9月に開校したものの、生徒の減少によって、明治29年、校舎を弥彦村に寄贈し、廃校となった。

明訓校発生の場所となった鈴木家

しかし、その名を後世に伝えたいとのことから、明訓校財団が設立されたが、関係者の高齢化によって社団維持も困難となったものの、昭和17年、明訓の名跡と建学の精神だけは現在の新潟明訓高等学校（当時は新潟夜間中学校）に伝承され、明訓校が蘇ることとなった。

当時の明訓校舎は永らく弥彦小学校として利用された。昭和45年、村内３つの小学校の統合で、その校舎も取り壊された。

現在は、商工会館脇に明訓校之跡に石碑が残るのみとなった。

新潟明訓高等学校の前身の新潟夜間中学校の創設が大正10年であり、来年が１００周年と聞いている。名誉ある発祥の地「弥彦村」として、この１００周年事業に何か力添えができないものか。

弥彦村が明訓校の発祥の地であることを好機と捉え、これまでの軌跡をめぐるコースを設定し、弥彦地内を散策してもらってはどうか。

教育長

新潟明訓高等学校に来年創立１００周年の記念事業計画があることは、同校から伺う機会があった。また、発祥の地に関する資料と情報収集を求められたので、提供させてもらった。提案の明訓校の軌跡をめぐるコースの件は他課と協議の上検討する。

質問

弥彦小学校の思い出の冊子には、明訓校の校歌・明訓寮についても掲載されている。明訓校が廃校のとき、彌彦神社に寄進した校額を１００周年事業に借用できないか。

明訓校の碑

村長

村長として明訓校の評議員に就任しているので、事業は知っている。要請は教育長を通じて、神社の宮司に借用、または寄贈が可能かどうか、伺いたいと考えている。

一般質問
9月7日

丸山（まるやま）　浩（ひろし）議員

少子化対策

弥彦村の人口減対策は

村長＝地道な行政の施策が人口減対策に繋がっている

質問　8月5日に総務省から発表された住民基本台帳に基づく人口動態調査によると、今年1月1日時点の国内の日本人は1億2427万1318人で、前年より50万5046人（0・40％）の減少。11年連続のマイナスで、減少数、減少率とも過去最大であった。

政府が掲げる地方創生の取組みにもかかわらず、少子化と東京一極集中が加速。都市部での新型ウイルス感染拡大により地方分散の関心が高まっている中で、有効な対策を打ち出すことが喫緊の課題である。

昨年の出生数は、86万6908人で最少を更新、初めて90万人を割り込んだ。死亡者数は、137万8906人で過去最多。働き手となる15～64歳が全体に占める割合は0・20ポイント減の59・29％となり、65歳以上は0・35ポイント増の28・41％で少子高齢化がさらに進んだ。

新潟県の日本人人口は221万7650人（全国15位）で、前年から2万4867人の減。23年連続の減少となった。北海道、兵庫、静岡に次いで全国で4番目に多い減少数である。弥彦村の日本人人口は7978人（前年比145人減）

この様な状況の中、弥彦村ではどのような人口減対策を行っているか、また人口減少のスピードを可能な限り抑えるために、今後どのような対策を進めていくか、計画等は。

村長　弥彦村の人口はこれまで、8000人台という大台をキープできたのは、大谷前村長時代の住宅団地造成だと思うが、根本的な対策にはならないと思っている。基本的な人口減対策は、村の活性化である。元来、持っている魅力、潜在力を徹底的に掘り起こし、それを輝かせることが、弥彦村の人口減対策に繋がると考える。自然環境、地理的条件、小学校・中学校が1村1校という、小さな弥彦村らしい教育制度、これらが、人口減対策に繋がっている。教育・商業・農業・観光の活性化など、地道な行政の施策が、人口減対策に繋がっている。『ローマは1日にしてならず』そう簡単ではないが、人口減少のスピードを可能な限り抑えられるよう、村の活性化を目指して頑張りたい。

副村長　村では第6次総合計画を策定している。人口減少対策という問題についても、審議会の意見を尊重しつつ、また村民・有識者の意見も反映し、現状、課題、目標をきちんと計画にうたっていけるように努めたいと考えている。

少子化で人数が減っている保育園児

個別外部監査

競輪個別外部監査の結果報告は

副村長＝議員及び村民にも広く公表する

質問 競輪個別外部監査の結果が出て、公表するとのことであったが、令和元年度の決算審査を迎える9月の段階においても何もない。公表までのスケジュールと、その方法は。

村長 6月議会終了後から協議してきたが、非常に難しい問題があり、法律に詳しい副村長から答弁してもらう。

副村長 個別外部監査結果の公表に当たり、全てオープンできるか疑問がある。3月議会では、不正が無かったことと、ホームページで全部を掲載すると答弁した。

詳細な監査の結果、監査対象外の部分、個人のプライバシーや団体等の守秘義務の侵害となる部分をオープンにしていいのか非常に疑義がある。

今回の外部監査は、詳細にわたる報告書であり、ページ数も膨大である。

熱心に精査する外部監査員

そのため、顧問弁護士と相談し、個別監査を委託した宇澤公認会計士の考えも確認しながら、対応を判断する。

新型の感染症が終息に向かわないと宇澤公認会計士を訪ねることもできない。

公表スケジュールは、これらの状況を見極めてからになるので、理解を願いたい。

公表の方法は、監査結果を示すとともに、ホームページへの掲載と、一定の閲覧期間を設けるなど、広く村民に公表することを考えている。

本多隆峰（ほんだたかね） 議員

弥彦公園管理について

質問 菊祭りの菊花展の将来を考えると、弥彦公園を今後どうしたらいいのかについて、哲学観・世界観をもつ業者に任せたい。そこで、3社によるプロポーザル方式で業者選定したとのことである。3社の中から、㈱才門ファクトリーに決めた理由は。

村長 既存植物の育成回復・管理について、3社に相違はなかった。ただし、今後の造園に関する考えに、宇宙観・哲学観をもった公園づくりの提案が、㈱才門ファクトリーにはあった。

菊祭りは、菊栽培する方が高齢のため、継続は困難になる。弥彦公園のもみじ谷と魅力ある公園を造ることが最重要と考え選定した。

シルバー人材の運営費増額を

質問 シルバー人材センターに対する村の補助金が前年度から120万円減額され、財源不足から支援を求める要望が理事長からあった。村長は、シルバー人材の趣旨を十分理解していると思う。現状を打開できるように配慮願いたい。

村長 先般、理事長はじめ数名で来庁し、支援要請があった。

シルバー人材の重要性はよく承知している。議員の了承があれば、専決等で早急に手当てする用意がある。

副村長 これからは、運営方法の見直し、補助金の適切な活用など適宜指導を行いながら、迅速に対応し、健全かつ、安定化が図られるよう支援していきたい。

7・8月臨時会・9月定例会　議決結果一覧

○賛成　×反対　議長は採決に加わらない。

区分		議案	採決結果	渡邊	古川	那須	丸山	板倉	柏木	小熊	武石	本多
7月臨時会	8日	令和２年度弥彦村一般会計補正予算（第４号）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	21日	避難所用防災備蓄品購入契約の締結について（感染症対策）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8月臨時会	補正	令和２年度弥彦村一般会計補正予算（第５号）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		令和２年度弥彦村競輪事業特別会計補正予算（第２号）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9月定例会	決算認定	令和元年度弥彦村一般会計歳入歳出決算認定	認	○	○	○	○	○	○	○	／	○
		令和元年度弥彦村国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定	認	○	○	○	○	○	○	○	／	○
		令和元年度弥彦村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	認	○	○	○	○	○	○	○	／	○
		令和元年度弥彦村介護保険特別会計歳入歳出決算認定	認	○	○	○	○	○	○	○	／	○
		令和元年度弥彦村競輪事業特別会計歳入歳出決算認定	認	○	○	○	○	○	○	○	／	○
		令和元年度弥彦村温泉事業特別会計歳入歳出決算認定	認	○	○	○	○	○	○	○	／	○
		令和元年度弥彦村下水道事業特別会計歳入歳出決算認定	認	○	○	○	○	○	○	○	／	○
	条例	弥彦村村税条例の一部を改正する条例	可	○	○	○	○	○	○	○	／	○
	補正予算	令和２年度弥彦村一般会計補正予算（第６号）	可	○	○	○	○	○	○	○	／	○
		令和２年度弥彦村介護保険特別会計補正予算（第１号）	可	○	○	○	○	○	○	○	／	○
	人事	弥彦村教育委員会教育長の任命について	同	○	○	○	○	○	○	○	／	○
	その他	弥彦小学校タブレット端末等購入契約の締結について	可	○	○	○	○	○	○	○	／	○
		弥彦中学校タブレット端末等購入契約の締結について	可	○	○	○	○	○	○	○	／	○
		コロナ禍における私立高校生の学びを保障し私立高校の教育環境整備をはかるため、私学助成増額・拡充を求める意見書	可	○	○	○	○	○	○	○	／	○
		新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書	可	○	○	○	○	○	○	○	／	○

採決結果の表記：認＝承認　可＝可決　否＝否決　同＝同意

あとがき

前議長武石雅之さんが健康上の理由で突然「辞職願」を議長宛に提出し、9月2日付けで辞任が認められました。議員当選5回、通算17年4カ月に渡り、村民のためにご尽力いただき大変お疲れ様でした。

武石さんは、競輪特別委員長として、寛仁親王牌競輪誘致のために関係自治体や競輪団体へ村長・正副議長と共に陳情活動を展開され、誘致にご尽力されました。

9月定例会の初日の開会前に議場で退任のご挨拶をされ、議場を去られました。今後は健康に留意され、村のためにお力添えを頂きますようお願いいたします。

また、9月定例会の最終日に、小林村長が令和元年度決算意見書及び主要施策報告書に記載ミスがあったことに対し、陳謝がありました。議員も改めて気を引き締めて審議しなければと感じました。

（柏木　文男）

発行責任者　安達　丈夫
編集委員会　板倉　恵一　那須裕美子
柏木　文男　渡邊　富之
印刷所　弥彦村　イナバ印刷